

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

作成日 2008年9月27日

【評価実施概要】

事業所番号	"0175000314
法人名	社会福祉法人 きたの愛光会
事業所名	グループホーム 秋桜
所在地	北見市北光296番地7 (電話) 0157-66-3275

評価機関名	(有) NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成20年9月17日

【情報提供票より】(20年8月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 3 月 22 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	8 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 0 人

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル造り	
	2階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500 円	その他の経費(月額)	10月~3月暖房費3,000円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

(4) 利用者の概要(8月18日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2		1名	
要介護3	2名	要介護4		3名	
要介護5	2名	要支援2		0名	
年齢	平均 85歳	最低	70歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人治恵会北見中央病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街の会社跡地を利用した、2階建ての1階がホームになっています。隣接して住民センターがあり、老人クラブのカラオケ・誕生会に参加するなど利用者の楽しみになっています。利用者が多くの時間を過ごすホールはスペースが広く過ごしやすい優しい雰囲気になっています。畑や花壇等があり、職員と一緒に種を植え、草を採り収穫をしたり、利用者の出来ることを大切にしています。地域住民による草刈り・畑の手入れなどが日常的に行われており、利用者と地域の交流の場になっています。職員の離職等がなく、馴染みの関係で支援が続けられ、利用者と職員双方に笑顔が見られ日常の和やかさが感じられます。「ゆっくりゆったり、家庭的な雰囲気の中で、個人の尊重を守り、自立した楽しい生活を、安全に安心して行えるよう、家族・地域と共に」の理念のもと、利用者の思いを汲み取り支援する姿が伺えます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価による課題については管理者と職員が会議の中で話し合い、家族会の設置、ホーム便りの作成、緊急連絡網の整備、地域との日常交流等、前向きに取り組み改善されています。運営推進会議を活かした取り組みについては出来る範囲で実施しています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は評価の意義や目的を全職員に伝え、評価票を一人ひとりに配布しています。職員はわかる項目について記入し、管理者がまとめています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>今年に入り、2回の会議を開催しています。町内会長・老人クラブ会長・民生委員・利用者家族代表・地域包括センター長・管理者・職員のメンバーで構成されています。利用者の状況やホームでの活動内容等について報告がされています。作成した議事録を玄関先に開示しています。地域の理解と支援を得るための貴重な機会と捉えていますが、活発な意見交換や定期的な開催には至っていません。9月中に開催を検討しています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>管理者・職員は家族の訪問時を捉え、利用者の様子、健康状態を伝えています。意見箱を設置していますが、実際の利用はなく、家族の思いや不安を聞き取る機会として家族会を開催しています。3ヶ月に1度、広報紙「コスモス通信」を発行し、ホームを理解してもらう工夫としています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>利用者が地域で暮らし続けるために町内会に加入し、廃品回収活動や町内会掃除、ホーム駐車場での花見・盆踊りの準備、手伝い等、地域とホームがふれあい、交流に努めています。保育園児の誕生会への招待は利用者の楽しみになっています。</p>

(有) NAVIRE

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で本人らしく、暮らし続けることが出来るようにホーム独自の理念を掲げています。事業所のパンフレットは大きめの文字で、読み易く、分かり易い配慮がされています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念達成のために、職員一人ひとりがゆっくりゆっくりを心がけ、利用者の支援に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域の行事(花見・老人クラブ誕生会)等に積極的に参加しています。地域住民による草刈り・畑の手入れが日常的に行われたり、音楽療法に参加してくれるなど、地域との交流、理解を深めています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の改善課題項目に対しては、会議の中で話し合いサービスの質の向上に努めています。今回の自己評価については職員がわかる項目について記入し、管理者がまとめています。評価結果は玄関先に開示しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度、3月と6月に運営推進会議を開催し、利用者の状況やホームでの活動内容について報告しています。議事録は玄関先に開示しています。	○	定期的な開催により、意見の出しやすさに配慮し、活発な会議の運営がされサービスの質の向上に活かしていくことを期待します。議事録については開示するだけでなく欠席されたメンバー、家族にも配布するなどし、情報の共有に努めるよう望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>行政の研究会の参加やキャラバンメイト活動の協力を努めています。関連機関とは必要に応じ連携し、サービスの質の向上に取り組んでいます。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の訪問時や電話連絡にて暮らしぶりや健康状態を伝えています。3ヶ月に1度、金銭報告とお便りを送付しています。時には、写真や生活の様子を一緒に送っています。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置していますが、実際の利用はなく、家族会を設立し、相談や意見を伝えてもらう関係作りに努めています。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職等がなく、馴染みの職員による利用者本位の支援に努めています。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>母体の研究会やグループホーム協議会の研修会等に、計画的、かつ段階的に応じて研修体制を整えています。研修内容については、ミーティングの中で報告がされ、情報の共有を図っています。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会や研修会等に参加し、交流する機会を通じて相談、アドバイスを受け、サービスの質の向上に繋がっています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームを見学してもらい、雰囲気や職員との会話の中で少しずつ馴染んでもらい、家族、利用者の不安や意向を受け止め信頼関係を築きながら支援しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は日常生活の中で、畑の事、料理の事等、生活の知恵を教えてもらったり、利用者の思いや喜びを共有し、お互いを分かち合える関係作りに日々努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の意向や希望を聞き、職員の気づきと照らし合わせ、その人らしい暮らしが実現できるよう支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	申し送りや月1回のカンファレンスの実施により、利用者本位の介護計画を作成しています。家族には同意を得ると共に介護計画書の写しを交付しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的(3ヶ月に1回)に見直しを行うと共に、毎月の会議でカンファレンスを実施し、変化が生じた場合はその都度見直しを行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者・家族の状況に応じ、通院やお墓参り、理美容室への送迎等、必要な支援は柔軟に対応しています。ホーム駐車場を地域の盆踊り会場等として提供しています。		
4. 本人がよりよく暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の希望するそれぞれのかかりつけ医と連携をとりながら支援しています。週1回の訪問看護や母体看護師により日常的な健康管理がされています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や看取りについては指針があり、家族に説明がされ同意を得ています。職員は母体の看取りの勉強会に参加し、全員で方針を共有しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの性格を把握し、誇りやプライバシーの尊重に努め、声かけや対応に十分配慮しています。個人情報の取り扱いについては、家族と同意書を交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの基本的な一日の流れはありますが、一人ひとりのペースや希望を優先し、個々の力量を發揮しながら生活が出来るように支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	母体栄養士の献立を基に、畑でとれた野菜で料理をしたり、利用者の状態を大切に捉え、盛りつけ等の工夫をしています。楽しい雰囲気作りに配慮し、それぞれのペースで食事がとられています。下膳や茶碗洗い等利用者の力を活かせるよう支援しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日(週2回以上)は設定されていますが、希望に合わせた入浴時間になっています。気の合う同士で入浴することもあり、楽しく入浴できるよう支援しています。入浴拒否に対しては声かけやタイミング等の工夫をしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	茶碗洗い、掃除、畑仕事、読み聞かせ、朝の体操、音楽療法、趣味(編み物)等、日常の生活の中で利用者の出来ることを発揮してもらい活力ある毎日を過ごせるよう支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の状況や体調に応じ、散歩、買い物、町内会行事、墓参り、外気浴等希望に添って支援しています。ホームの愛犬との散歩は利用者の楽しみになっています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を掛けない自由な生活を支援しています。利用者の様子等を把握し、見守り体制を徹底し、安全確保に努めています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は消防署、地域住民の協力を得て昼夜を想定した実践的な訓練を実施しています。近所の方を含めた緊急連絡網を作成しています。救急救命については、全職員が受講し、非常時に対応できる体制を整えています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	母体栄養士による食事提供を行い、食事量や水分量は記録がとられ、職員間で情報を共有しています。一人ひとりの状態を把握し、摂取しやすい工夫(ミキサー食・おかゆ・きざみ等)がされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間はゆったりと過ごせるスペースが確保され、柱時計、古い茶ダンス等が置かれ、生活感を採り入れた工夫をしています。テレビが2台設置されており、好きな番組が見られるよう配慮しています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に利用者の使い慣れた物や好みの物を用意してもらうよう伝えています。ぬいぐるみ・テーブル・神棚・孫の写真等が持ち込まれ、安心できる居室になっています。		